

第一商業高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 家庭 科目 被服

教 科： 家庭 科 目： 被服 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ F 組 選択者

教科担当者：（X組：氣田 ） （Y組：氣田 ）

使用教科書：（ なし ）

教科 家庭	の目標：
【知識及び技能】	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 被服 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	使用する被服材料がなぜ適切なのか考え、その特性を理解し被服構成に結び付けることができる。製作に必要な技法を習得し、それを自分で表現することができる。	衣生活の充実を目指して自ら学び、被服製作に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 手縫いによる基礎縫い ミシンを使用したトートバッグの製作 手縫いの基本的な技術を習得する 【知識及び技能】 布目の確認し、布地には方向性があることを理解する。基本的な手縫いの技法を習得する。ミシンの糸のかけ方、使用の仕方及び、ミシンでの縫製の仕方を習得する 正しいボタンのつけ方を習得する 【思考力、判断力、表現力等】 きれいに正しく縫うためにはどうしたらよいのか考える。生活のどの場面で必要になるかを考える。トートバッグの布の組み合わせについて考え、限られた中でのデザインを工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的、自主的に学習に取り組んでいる。	・手縫いの基礎について（なみ縫い、半返し縫い、本返し縫い、千鳥掛け、ボタン付け）技術を習得する。正しいボタンのつけ方を習得する。 ・ミシンの使い方を習得する。 ・ミシンを利用してトートバッグの製作を行い完成させる。 ・配布された布地の中から組み合わせを工夫しする。 ・完成までの手順についてなぜこの手順なのかを理解する。	【知識・技能】 手縫い、ミシン縫い共に正しい縫い方、きれいな縫い方ができる。 角、曲線などの縫い方が正しくできる。 玉結び玉止めが正しくできる。 ミシンのセットの仕方、使い方片付け方について理解している。 縫い方の違いが理解できている。 見た目だけではなく縫い代や角などの始末の仕方がきれいにできている。 きれいに见せる仕上げ方ができる。 【思考・判断・表現】 きれいに完成させるための手段を考えられる。生活のどの部分で必要なことか考えることができる。布の組み合わせによって完成の雰囲気が変わることを想像できる。完成後、振り返ることによって注意しなければならないことなどを考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 技法の学びや実践を通して製作に積極的に取り組んでいる。仕上がりを想像し、やるべきことを考えながら取り組んでいる。技術の向上を目指し、納得いくまであきらめず取り組むことができる。	○	○	○	4
	B ハーフパンツの製作 【知識及び技能】 1枚の布をサイズに合わせ裁断することができる。手順通りにミシンを使って縫製し、自分サイズにあったあハーフパンツを完成させる。正しいポケットのつけ方、ゴムの通し方などを習得する 【思考力、判断力、表現力等】 きれいに正しく縫うためにはどうしたらよいのか考える。私服のパンツと比較し、パンツの形と、縫製の手順について理解する。ポケットの位置や形など限られた中でデザインを工夫する。刺繍やボタンなどを利用してデザインを工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的、自主的に学習に取り組んでいる。	・布を線通りに裁断する。 ・縫い代の意味、必要性などを確認する。 ・縫製手順について確認習得する。 ・ミシンの使い方を習得する。 ・パンツを期限内に完成させる。 ・限られた時間内で刺繍やボタンなどを使ってデザインを工夫する。 ・完成までの手順についてなぜこの手順なのかを理解する。 ・普段着用している衣服がどのようにできているか想像させる。	【知識・技能】 出来上がり線のとおり正しく縫製することができる。 角、曲線などの縫い方が正しくできる。 ミシンのセットの仕方、使い方片付け方について理解している。 縫い間違った箇所をほどこ縫い直しができる。 見た目だけではなく縫い代や角などの始末の仕方がきれいにできている。 きれいに见せる仕上げ方ができる。 期限内に完成させることができる。 【思考・判断・表現】 きれいに完成させるための手段を考えられる。次の縫製行程を考えることができる。ボタンや刺繍、ポケットの位置によって個性を表現することができる。 完成後、振り返ることによって注意しなければならないことなどを考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 技法の学びや実践を通して製作に積極的に取り組んでいる。仕上がりを想像し、やるべきことを考えながら取り組んでいる。技術の向上を目指し、納得いくまであきらめず取り組むことができる。	○	○	○	20

2 学 期	C シャツブラウスの製作	・型紙を自分サイズに合わせて正しく切ることができる。 ・型紙を布目を考えて生地になしく置く。 ・必要な縫い代をとり、裁断し、出来上がり線に沿って印をつけることができる。合印や、角などの印のつけ方と意味を理解する。 ・縫い代の意味、必要性などを確認する。 ・縫製手順について確認修得する。 ・ミシンの使い方を習得する。 ・ボタンの大きさや素材について考える。 ・シャツを期限内に完成させる。 ・限られた時間内で刺繍やボタンなどを使ってデザインを工夫する。 ・完成までの手順についてなぜこの手順なのかを理解する。 ・普段着用している衣服がどのようにできているか想像させる。	【知識・技能】 型紙が線通りに切ることができる。型紙を布目に合わせて生地に置くことができる。正しく裁断することができる。出来上がり線のとおりになしく縫製することができる。角、曲線などの縫い方が正しくできる。ミシンのセットの仕方、使い方片付け方について理解している。 縫い間違った箇所をほどこ縫い直しができている。 見た目だけではなく縫い代や角などの始末の仕方がきれいにできている。 きれいにさせる仕上げ方ができる。 期限内に完成させることができる。 【思考・判断・表現】 きれいに完成させるための手段を考えられる。次の縫製行程を考えることができる。ボタンや刺繍、ポケットの位置によって個性を表現することができる。 完成後、振り返ることによって注意しなければならないことなどを考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 技法の学びや実践を通して製作に積極的に取り組んでいる。仕上がりを想像し、やるべきことを考えながら取り組んでいる。技術の向上を目指し、納得いくまであきらめず取り組むことができる。	○	○	○	28
	D 棒針編みのネックマフラーの製作	・棒針2本使用した作り目を習得する。 ・表メリヤス、裏メリヤスの編み方の違いについて理解し、編み方を習得する。 ・編み目の組み合わせ方によって数種類の編地が出来上がることを理解する。 ・製作途中で編み目がとんだり、抜けてしまった場合の対処方法を習得する。 ・伏目、メリヤスはぎの方法を習得する。 ・ネックマフラーを期限内に完成させる。 ・完成までに時間がかかることを理解し、衣服を大切に作る気持ちを養う。 ・普段着用している編み物（セーターなど）がどのようにできているか想像させる。	【知識・技能】 2本針を使用した作り目が正しくできる。表メリヤス、裏メリヤスの編み方の違いを理解し自分の力で編むことができる。裏表を間違えて編んだり、目がとんだときの対処方法を習得する。力を均等に目がそろって編むことができる。 縫い間違った場合、ほどこいて編みなおすことができる。 期限内に完成させることができる。 【思考・判断・表現】 きれいに完成させるための手段を考えられる。期限を考え、日々どこまで編み進めたらよいか考えながら製作することができる。編み目の違いを理解し、編み直しの判断をすることができる。 完成後、振り返ることによって注意しなければならないことなどを考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 技法の学びや実践を通して製作に積極的に取り組んでいる。仕上がりを想像し、やるべきことを考えながら取り組んでいる。技術の向上を目指し、納得いくまであきらめず取り組むことができる。	○	○	○	18
							合計
							70